

開催日時：平成25年3月21日（木）

13:00～16:00

集合場所：両国橋袂ボートハウス前棧橋

開催場所：阿波おどり会館4階 第1活動室

第3回 ひょうたん島川の駅ネットワーク市民構想会議

会議録（要約）

【出席者】

委員：11人

大谷委員、岡部委員、黒田委員、近藤委員、長澤委員、中村委員、間委員、服部委員、真鍋委員、矢部委員、吉岡委員

オブザーバー：5人

徳島県 河川振興課 港湾空港課 運輸政策課

市側：16人

都市整備部まちづくり推進課ほか

傍聴者：0人

【会議プログラム】

- 1 開 会
- 2 現地見学
- 3 議 事
- 4 閉 会

【会議の内容】

1 開 会

挨拶（会長）

2. 現地見学

（船上にて）中村副会長より案内

3. 議 事

（阿波おどり会館4階 第1活動室）

会長により進行

- ・ 第2回市民構想会議のまとめ
- ・ 第1回ワークショップのまとめ
- ・ 第1回ワークショップアンケートのまとめ
- ・ 第2回および第3回ワークショップ（素案）
- ・ 川の駅候補地およびその周辺の利活用（案）
- ・ ひょうたん島川の駅ネットワーク構想コンセプトおよび基本方針（中間素案）
- ・ 意見交換および質疑

4. 閉 会

次回開催予定

次回の開催は、6月から7月を予定しています。

以 上

■第3回市民構想会議のまとめ(平成25年3月21日)

注) 事務局意見は回答を求められた場合のみに発言した

キーワード	委員意見	事務局意見
候補地について	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅候補地というのを絞り込みするべきだという気はした。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・全部一緒に整備するというのは難しいと思う。できるところから、可能性の高いところから整備していく。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・可能性の高いところと低いところがあったら、「高いところに力を入れてやりましょう。」という議論もあると思うので、今後の議論に活かして頂ければと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり駅としてこだわりのあるところを、拠点となる駅だけではなくて、2ヶ所くらいはきちんとつくろうという、そういう議論の場でありたい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・あわぎんホール前棧橋から文学書道館寂聴棧橋までの距離が長いので、この間に駅が一つ欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県と市で検討しているところですが、なかなかハードルが高い状況です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・徳住橋のところは、人がちょっと集まりにくいのではないか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋袂棧橋は、さっき船から見たら本当に素晴らしいところなので、ぜひやって欲しい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋袂棧橋は、非常に発展性があるのではないかと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島文化公園前棧橋に関しては、駅ができて実際に乗降客が乗り降りをしていくきっかけ作りをしていくのは、非常に難しいのかなという印象を受けた。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・現状から考えて、発展性・使い勝手・人通りなどを考えると助任橋袂棧橋のほうが徳島文化公園前棧橋よりいいかなと思った。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋袂棧橋は整備して欲しい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋のところであれば、川の駅でもあるし、道の駅にも発展させられる。人が集まる人の駅にもなる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋袂棧橋はかなり、ポテンシャルが高いと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁前棧橋は候補地に上がったたり下がったりしているが、他のところと同列には扱いにくいというイメージなのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ここ数年で県庁前棧橋を整備することは極めて困難である。ただ川の駅の運行状況を見極めて将来的な検討課題にしていきたい。」という回答を県から頂いたので、それにそった形で引き続き将来的に実現できるように、努力をしていきたいと思えます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ケンチョピアというのは全国でもここにしかない、街のランドマークとしてもかなりいいのではないかと思う。それに、三河邸や中洲市場、県庁があるので、県庁前棧橋は候補地として記載しておいて欲しい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・県庁前棧橋はキーになる川の駅だと思う。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・地元の人が喜んでくれる場所、楽しめるもの、憩える場所に川の駅をつくれればよいと思う。 		

キーワード	委員意見	事務局意見
駅(周辺)の整備について	・文学書道館寂聴棧橋、助任橋袂棧橋辺りで年に2~3回くらい川があふれる。	
	・満潮の時には、低い橋は通れないと捉えていいのか？ →福島新橋は通れない。	
	・個人宅が川に面したところは、生活の裏面が見え隠れするような景色が多かった。	
	・あわぎんホール前棧橋から文学書道館寂聴棧橋へまわる辺りに、コンクリートで固めた護岸に、例えばアートの絵があったりとか、陰ではなく陽というか、見る楽しみをさらに付加していくようなことを並行してやっていけばいいのではないかと思う。	
	・乗っている楽しさ(スリル等)に、今の時期であれば桜でもよいのだが、何か少し付加できるような形で並行してつくりあげていくという整備があってもいいのかと思う。	
	→景観や物語があるとずいぶん違う。	
	・かちどき橋の下にアンダーパスができる就非常によいのかではないか。	
	・かちどき橋の下のアンダーパスを通れるようにすると、三河邸もものすごく生きてくる。ひょうたん島をよく利用するようになるとそういう話も出てくるようになると思う。	
	・万代町からずっと周遊できる遊歩道みたいなものが、途中までできているのに、ここだけ途切れているというのがものすごくもったいない。	
	・かちどき橋下のアンダーパスが出来ると、車や船だけでなく、歩くということも含めて、素晴らしいところになると思う。	
	・船はつながっているが、遊歩道のところが途切れているというのが、残念である。	
	・どこかで切れていたら魅力が半減するところがあるので、遊歩道一周というのは難しいかも知れないが、できるだけ途切れているところは繋ぎたいと思う。	
	・助任橋のところに川の駅があれば、かなり公園に人が入っていくだろうし、船に乗ってくる人も増える。駐車場もあるので、車を置いて乗ることができる。	
	・駅長をおくとしたら全てにはおけないとしても、一番利用するところにおいてもよいと思う。目的によって、駅の強みを出していくようなことを考えたらどうだろうか。	
→全体のコンセプト、なぜ整備をしていくのかということと、各駅の強み、特徴を出して整備していきましょうというのは、今年度の取りまとめとして1回整理したいというのが事務局の意向でもあるので、それを元に、次年度に続けて行ければよいと思う。		

キーワード	委員意見	事務局意見
駅(周辺)の 整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・今、万代中央ふ頭に置かれている栈橋は、県の方が実証実験で置いていて、安全性もそんなに良くないと思うので、栈橋整備に万代中央ふ頭も入れておいた方が良いのではないかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県の方と協議をして調整することになると思います。
	<p>→ネットワークとしてちょっと難しいことを言っているかもしれないが、栈橋ぐらひは整備して欲しいと思う。</p>	<p>【オブザーバーの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は仮ということで設置しておりますので、今後本格的な川の駅となったときには、安全性とか、それ以外の件も考慮して、川の駅の栈橋として使えるように検討していかないといけないと思っています。今すぐどうこうするという案もございませんので、ご指摘頂いた件については、検討させて頂きたいと思っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・これは県の整備になるのか？ 	<p>【オブザーバーの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備自体は、県とか市とか決まっているわけではありませんが、今のところ実証実験で県が設置しておりますので、一緒に検討しなければいけないとは思っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・栈橋未整備のところは、順次、整備していくのか？優先順位を書いてある資料に、万代中央ふ頭は入っていなかったなので、他の栈橋は徳島市で整備するけど、万代中央ふ頭は県にお願いするという話なのかと思った。 	<p>【オブザーバーの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それは決まっておりません。今のところは、仮で設置しているということです。一応整備済みという形にはしてもらっています。
規制について	<ul style="list-style-type: none"> ・河川法はある程度緩やかにはなってきているが、公園法の方が非常に厳しい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・川の中でも今は規制緩和ということで、かなりのことが認められるようになってきているので、公園の方でもある程度柔軟な対応がいののではないかと思います。 →実際に動こうとしたときに、法的な縛りがあるのは厳しい。 	

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり地元の人を楽しめるようなものにしていくというのが、大事なのではないかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生活の中に溶け込む、そういった風物詩となっていくことによって観光客、来訪者の方にも喜んで頂けると思いますので、まずは市民の皆さんと一緒に川を活かしたまちづくりを根付かせて行くことが、先決だと思っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の中間素案の中で、「観光」という言葉が一言も入っていない。あくまでも地域のまちづくりという観点から整備をしていきたいと思いますということに主が置かれているが、個人的にはその方がはっきりしていいと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光は観光で大切だとは思いますが、地域に根ざしたものが観光を生むのであると思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> →共通の認識だと思う。観光という文字を入れるか入れないかは、また検討して頂く。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅を使って乗り降りをさせることが目的ではなく、純粹に船に乗って楽しむということを行してもっと強化していかなければいけないと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・川からの駅ではなく、陸から見た駅も考える視点が重要だと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・川から見る景色も当然だが、駅とするのであれば陸からもコミュニティのある施設としての整備も必要ではないかと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい活動をベースとしたら川の駅周辺の陸上となるので、陸上の活動をどうしていくかも大事である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅であって、それが道の駅にもなるし、人が集まってくる、人の駅でないといけないと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・今はとりあえず、できるところから進めていく。これくらいの候補地でないと、無理ではないかと思っている。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関のようにしていくのは今の運輸体制では大変である。本当に動き出してから市民が盛り上がってきて進展する議論なので、最初から公共交通とするというのは難しい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> →ただ、計画が進んで行くうちに話が途切れていって、将来描いていた像がなくなっていることもあるので、そこは注意して欲しい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は第1段階であって、将来的には交通手段にも使えるようにしないといけないと思う。アスティや沖洲へ行くと、利用する人もたくさんいると思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・運営の仕方については、やっぱり実験をしながらになると思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> →現実問題として、お金もいるし、人もいる。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎(建物)をつくるとしたら、別の使い方も考えて、そこに管理機能を持った総合的な考え方で整備する方が良いのではないかと思う。 		

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅を使って できること	・かなりの人たちに来てもらえるようなイベントをまずやってみる。その中で集まった人たちに、実際に活動してもらえるような仕掛けなどをつくっていくことの議論をした方が良さそうな気がする。	
	・川の駅を活かすために、まずはイベントから入る。入り方はいろいろとあると思うが、イベント等をうまく活かして皆さんに喜んで頂いて盛り上げていくという観点は大事だと思う。	
	・アドベンチャーみたいな感じで船で結婚式場へ行く。川からの結婚式というのもひとつの文化。徳島のおもてなしのひとつとしてもいいと思う。結婚式というのは多額のお金が動くので結婚式と船の運航をパック料金にして、結婚式場にも新町川を守る会にもきちんとお金が落ちるようにすれば、運営の役に立つと思う。	
	→こんな風に使うと、こんな効果があって、皆さんに喜んで頂けるか、思い出に残るようなことができるか、そういうアイデアをいくつか持っている、その川の駅が生きてくる。	
	・徳大が近いから環境講座などもすぐに開催できると思うし、いろいろ市民の支援センター等も入って活動したら、広がりを見せられると思う。	
	・実証実験でアンケートを取ったとき、周遊船を日頃の交通機関としての認識はほとんどないが、観光のニーズとイベント時には使ってみたいという意見や、車いすでラウンド・ワンまで行くのに、万代中央ふ頭棧橋が整備されたら公共交通機関としていいのにといい意見もあった。	
	・新町西地区市街地再開発が、市民に周知するチャンスというか、「水都とくしま・ひょうたん島川の駅」を知らせる大きなチャンスだと思う。 ・アクア・チッタでは、万代中央ふ頭を知ってもらうために、イベントで儲かる、儲からないという話ではなく、本当にみんなのボランティアの力を借りて、ここで毎回イベント活動を行っている。広報活動の一環だと思って活動をしている。	
第1回ワークショップ について	・ワークショップでは、従来考えていなかったようなこと、あるいは広がりのある話が沢山あったのでとても参考になった。	
	・ワークショップでは、天文山へ行くのに末広大橋の周辺にも棧橋ができれば、もっと歴史の深みができるのではないかなというような発言もあった。	
周囲の意見	・いよいよ交通手段としてきちんとしたものができそうなのだな、全国に向けて初めてのものができんだなという意識がかなり強い人たちがまわりにたくさんいた。	
	・日常的な手軽に利用できる移動手段というところで、今と変わらないのではないかな、駅というイメージに結びつかないし、これで地域のまちづくりの活性化にどうやって役立っていくのか、という意見があった。	
	・マスコミからは、「出来るところから整備していくというスタンスで、物語を書くようなかたちで進めていくのがいいのではないかな。」という意見が出ている。	

キーワード	委員意見	事務局意見
資料について	<ul style="list-style-type: none"> ・会議資料は、HPにも公開されているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議資料ということで掲載されます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・P. 18の地図で瀬戸内仏具店さんが、瀬戸内寂聴さんの生家になっているが、生家は別にあるので、ここは、ご実家という表現でお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の会議では修正したものをお示しします。
	<ul style="list-style-type: none"> ・全体コンセプトおよび候補地の①～③とありますが、③をトップにあげてもらいたい。これが一番重要なので、手軽な移手段というのは補足的なことだと理解している。 	
	<ul style="list-style-type: none"> →原案の③を①にして②はそのまま、①を③にする。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅の候補地のところで、川の駅舎の整備を検討するという文面は、1ヶ所しか出てきていないが、特に今回、皆さんが良いとおっしゃった助任橋袂棧橋、徳島文化公園前棧橋のところで、川の駅舎の整備というのをどうするかというのを、きちんと書いておいた方が良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P. 21の最後から4行目、④の助任橋袂棧橋については、利用状況等を見極めつつ、将来的にひょうたん島北の拠点施設としての機能を付加することも検討する。という表現をさせて頂いています。
課題について	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅舎という言葉は①にだけ書くのではなくて、全体的に川の駅舎を検討するというふうに書けば、どれにでも当てはまると思うのだが、①だけに付いているのでそれが気になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前向きな検討をさせて頂きます。
	<ul style="list-style-type: none"> →助任橋袂棧橋をまずは最初に整備してみるというのが、一番良い。拠点を新町橋袂棧橋とすると、西新町の再開発をするために、川の駅の設置をしているようになってくるので、まず、助任のところで川の駅をつくる。その後新町橋河畔棧橋ができる。それぐらいの意気込みが欲しいと思う。 	
周知・差別化	<ul style="list-style-type: none"> ・中間素案をつくってだんだん深めていくということも大切なので、具体的にWSで出たような意見、それからこの拠点では何をしたら魅力的になるかなどが、次の課題になると思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・課題問題が出てきたら、意見を出し合って行けば、事務局にも前向きで柔軟な対応してもらえらると思うので、次年度も続いて意見を出し合って行きたい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・新町西地区市街地再開発が、「水都とくしま・ひょうたん島川の駅」これらを市民に知らせる大きなチャンスだし、一つのきっかけになるんじゃないかと思う。 ・バスと差別化を図るのであれば、徳島市の市民カードをもっている人は無料で乗船できる等、そういったこともすべきだと思うし、船に乗ることで新たな利用価値があるんだなと認識してもらう必要がある。そのためにも費用的な面でも、市の方が負担するとか、ちょっと予算を付けるということも一つの案だと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> →運行をどうするかということとセットだと思うので、市の方で検討して頂いて、25年度の会議で、議論が必要となれば議論すればよいと思う。 	